

北海道議会時報

第32巻第1号

昭和54年第4回定例道議会



北海道議会事務局

北海道議会時報第32巻第1号(昭和54年第4回定例道議会)

(表紙写真説明)

真冬の農業基盤整備

本道は、火山灰土、重粘土、酸性土、泥炭地などの特殊土壌が広範囲に分布し、さらに排水不良の耕地をかかえている。このため国、道などが事業主体となって各種の農業基盤整備事業を進めている。

写真は、48年度より7か年の歳月をかけて完成した空知管内の豊草地区道営かんがい排水（客土）事業のスナップ。

(写真提供―道農地開発部総務課)

第 4 回定例道議会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	9
意 見 案	11
請 願・陳 情	13

委員会 の 動 き

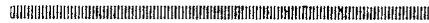
議会運営委員会	15
常 任 委 員 会	19
特 別 委 員 会	25
総合開発調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
予算特別委員会	

資 料

第 4 回定例道議会において議決を経た条例の 公布調	34
-------------------------------	----

12 月 の メ モ

議 会 日 誌



▶12月

- 1日(土) 総務委員会
3日(月) 農務委員会
4日(火) 議会運営委員会
5日(水) 議会効率化小委員会
10日(月) 議会運営、各常任、総合開発調査
特別、北方領土対策特別各委員会
11日(火) (第4回定例会開会)
議会運営委員会
本会議(会期決定<12日間>、提案説明)
14日(金) 議会運営委員会
本会議(代表質問<2人>)
15日(土) 議会運営、総務各委員会
本会議(代表質問<2人>、追加提案説明)
17日(月) 議会運営委員会
本会議(一般質問<5人>)

- 18日(火) 議会運営委員会
本会議(一般質問<5人>、予算及び
決算特別委員会設置)
予算・決算各特別委員会(正副委
員長の互選、予算第1・第2各分科会
設置)、予算第1・第2各分科会
(正副委員長の互選)
19日(水) }
20日(木) } 予算第1・第2各分科会(各部所
21日(金) } 管審査)
22日(土) 議会運営、各常任各委員会、予算
第2分科会(各部所管審査)、予算
特別委員会(総括質疑、意見調整)、決
算特別委員会
本会議(各委員長報告、組替え動議否
決、議案等可決、収用委員会予備委員
選任同意、意見案3件可決、請願・陳
情審査)
(第4回定例会閉会)

第4回定例道議会

総額504億円余の補正予算可決

▶過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望意見案を可決◀

概 要

- ① 台風20号による暴風雨災害対策等の補正予算などを審議する第4回定例道議会は、12月11日招集され、今期定例会の会期を12月22日までの12日間と決定の後、総額250億1,900万円余の補正予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から提案説明があって、議案調査のため、翌12日から13日まで2日間休会した。
- ② 休会あけの12月14日から代表質問に入り、翌15日には道職員の給与改定等に伴う総額253億8,400万円余の補正予算などの議案が追加提案され、17日から一般質問に入った。
翌18日には一般質問を終結して、31人からなる予算特別委員会及び27人からなる決算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため、12月19日から12月21日まで3日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、12月18日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、翌19日から補正予算等に対する各部所管審議に入り、第1分科会は21日、第2分科会は22日に質疑を終結。22日には各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、同日質疑を終結して意見調整に入ったが、意見の一致をみるに至らず、社会、公明及び共産3党共同による昭和54年度一般会計補正予算について撤回し、組替えのうえ再提出を求める動議が提出され、趣旨説明の後、採決に入り、起立採決の結果、これを否決し、知事提案をいずれも原案のとおり可決することに決定した。
- ④ 最終日の22日は、あらかじめ会議時間を延長のうえ、夜に至り本会議を再開し、補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託議案に対する各委員長報告の後、社会、公明及び共産3党共同提出に係る一般会計補正予算について撤回し、組替えのうえ再提出を求める動議に関する趣旨説明があり、討論に入り、採決の結果、動議を否決し、いずれも委員長報告のとおり原案可決。ついで、人事案件について提案説明の後、原案のとおり同意議決。次に、「電気料金改定に関する要望意見案」について討論、採決の結果、原案のとおり可決。ついで、「過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望意見案」ほか1意見案を可決、引き続き、請願、陳情審査の件について、委員会決定のとおり5件を採択と決定の後、報告第1号昭和53年度北海道各会計歳入歳出決算の閉会中継続審査並びに閉会中請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第1号を除きすべて議了。議長から、閉会のあいさつがあって、開会以来12日目の12月22日午後9時31分閉会した。
- ⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況					計
		原案可決	否 決	同意議決	継続審査	報告のみ	
知 事	44	39	0	1	1	3	44
議 員	4	3	1	0	0	0	4
計	48	42	1	1	1	3	48

本 会 議

○12月11日（火） 午前10時4分開議、西尾六七議長、昭和54年第4回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員井川伊平氏（11月2日）、同丸山正義氏（11月15日）、同竹村マヤ氏（12月7日）の逝去について弔意を表した旨を報告。次に、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から12月22日までの12日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、知事から提案説明。次に、議案調査のため12月12日から12月13日まで休会、12月14日再開することに決定して、午前10時23分散会。

○12月14日（金） 午前10時10分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、代表質問に入り、

武部 勤議員（自民）から、

- ① 80年代への展望と道政課題に関し、80年代の道政に臨む知事の基本認識、道発展計画の主要指標の実現見通し及び所要資金の確保見通し
- ② 昭和55年度道費予算編成と財政問題に関し、国庫負担特例措置の変更に伴う本道開発への影響、明年度予算編成の基本方針と一般会計の規模、事務事業の取捨選択機能と責任部門についての考え方
- ③ 行政改革に関し、今回の改革案の全体計画における位置づけ、財政節減の効果、本庁機構の簡素化、事務事業の見直しと対応する財政措置、行政コストの低減化に取り組む知事の決意
- ④ 道民生活の安定対策に関し、北電の電気料金の値上げ申請の受けとめ方と対処のしかた、灯油価格の動向、石油製品の値上げが道民生活に与える影響と対処方針、エネルギーの安定供給の確保と暖房システムの開発に対する考え方

⑤ 農業問題に関し、今回配分された減反目標面積の本道農業への影響と今後の対応及び稲作の将来展望との関係、国の農産物需給の長期見通しについての対応、地域別農業経営指標と農業確立目標との関連及び調整方法、本道農業に対する道の取り組み姿勢、生乳の需給見通しと明年度の生乳生産について指導方策、乳肉複合経営の推進についての考え、チーズの国産振興についての取り組み方

⑥ 韓国漁船の操業問題に関し、問題解決についての水産庁長官の訪韓並びに漁業水域法の早期適用に対する国への働きかけと今後の見通し

⑦ 観光振興に関し、観光レクリエーション公社の設立に対する考え、観光開発、施設整備の公共事業化の推進、観光レクリエーション施設整備についての行政の一元化及び予算措置の考え、観光産業の育成についての助成強化

⑧ 教育問題に関し、室蘭市、小樽市の学校の正常化に対する道教委の基本的姿勢と指導後の実態、他の地域における実態と対処策、道教委、市教委の指導に対し改善されない場合の措置、新教育課程の編成の趣旨と教職員に対する指導方針、教職員団体との確認、取り決めについての市町村教委への影響と今後の対応策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、議事進行の都合により、午前11時55分休憩、午後1時20分再開。ついで、

渋谷 澄夫議員（社会）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、陸上自衛隊記念式典に参加した知事の資格と立場、一日総監としてのあいさつの概要、制服着用と文民統制との関連及び道民への説明のしかた、専門委員制度の提案理由と専門委員の性格、北方領土の表現についての道議会決議と道の国に対する要望書との関連
- ② 財政及び開発問題に関し、明年度の道税収入と予算規模、国の福祉、教育予算の圧縮における道予算の編成方針、明年度の開発関係予算の見通しと開発政策の視点、本道に対する補助率特例についての基本的な考え、明年度予算編成の基本的な考え方、開発関係計画

における地域整備の予算措置と地域格差是正に対する考え方、発展計画における開発の弾力的運用の明示、苫東における石油の国家備蓄についての見解、機構合理化と道財政の現状との関連性

③ 行政改革に関し、今回の改革案における総合経済研究所の廃止についての考え方、行政改革に対する現地の意見反映の有無、権限移譲、事務事業の整理についての実施時期と方法、今回の行政改革の妥当性

④ 物価問題に関し、公共料金の動向と料金値上げが道民生活に及ぼす影響、電気料金の改定についての検討方、電気料金の算定基礎の見直しと社会福祉施設等に対する特別措置についての考え方、電灯料金についての考え方、電源開発促進税、代替エネルギー導入促進税等に対する見解、電源開発資金調達の実情と電気料金への影響との関連、本州との送電連係による北電の予備率、発電設備計画の説明状況、北電の電力需要想定の可否、発電所等の耐用年数についての認識、灯油、プロパンガス価格の値上がりについての見解、元売仕切り価格、卸小売価格等に対する知事の判断と対策及び道民生活安定条例の機能との関連

⑤ 農業問題に関し、稲作減反に係る転作面積の目標変更に対する見解、本道配分面積の妥当性と国へ返上する意思、過剰米の責任の所在、転作奨励補助金の計画加算措置についての対応策、第2期の水田利用再編対策に対する所見、本道稲作の将来について国の見解聴取の有無、品質格差導入に対する考え方、減反政策における知事の反省点、低能力搾乳牛の肉用化についての見解

⑥ 韓国漁船の操業問題に関し、韓国漁船に対する漁業水域法の適用についての取り組み方、韓国側の操業自主規制の評価

⑦ 福祉対策に関し、高齢化社会に対する基本的な見解、老人の就労対策、国の老人医療費の見直しに対する見解、道の老人医療給付制度の拡充、老人住宅の建設についての考え方、福祉灯油実施の考え

⑧ 教育問題に関し、道内における主任の定着状況、学校経営における主任の機能の現状、主任手当の支給、受給の実態、社団法人家庭

電気文化会の作成資料の学校への配付実態と地教委への届け出の実態、資料の配付状況及び授業の参考資料としての適否、高等学校の整備計画における目標収容率、今後の高校新設計画及び道発展計画との関連、定時制課程の学級減と勤労青少年の教育機会に対する見解及び定時制収容率の設定方法、中学浪人の把握状況、総合選抜制の実施見通しと進行状況、公立高等学校適正配置計画と私学との関連、収容率及び進学率のとりえ方

⑨ 交通事故防止対策に関し、冬型事故防止対策としての除排雪基準の改正及び除排雪機能の整備拡充についての見解、積雪期における交通事故の責任追及の考え方と処置、交通事故撲滅についての見解等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午後3時18分休憩、午後4時2分再開し、あらかじめ会議時間を延長のうえ、渋谷澄夫議員(社会)から再質問、議事進行の都合により、午後4時33分休憩、午後5時5分再開。知事及び教育長から休憩前の渋谷議員の質問に対する答弁の後、保格博夫議員(社会)から北方領土についての知事答弁に関し議会決議を確認のうえ再度答弁を求める旨の発言があり、議事進行の都合により、午後5時30分休憩、午後7時15分再開し、直ちに延会。

○12月15日(土) 午前11時51分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、代表質問を継続、

知事から、昨日の本会議における渋谷澄夫議員(社会)の再質問に対する再答弁の後、渋谷議員から再再質問があり、知事から答弁、議事進行の都合により、日程第1の議事を中止。ついで、日程に追加し、議案第25号ないし第39号を議題とすることをはり、異議なく決定の後、

追加日程 議案第25号ないし第39号を議題とし、知事から追加提案説明があって、議事進行の都合により、午後零時5分休憩、午後1時17分再開。ついで、

日程第1にあわせ追加日程を一括議題とし、代表質問を継続、

伊藤 豪議員(道政)から、

① 行政改革に関し、行政改革の基本方針と今後の取り組み方、道の内部改革に対する考え

方、機構改革に伴う道民不安に対する対処のしかた、機構のビルド面の取り組み方、行政事務の権限移譲に当たっての基準と作業の日程、道職員の公務員意識の改革についての考え方

- ② 財政問題に関し、明年度予算の重点項目と公共事業の位置づけ、今後の道債の発行方針、地方債増加による財政運営についての見解、地方財政対策のあり方
- ③ 青少年問題に関し、青少年の非行防止対策の強化、最近における児童生徒の非行についての認識と非行防止対策の進め方、地域活動における環境浄化対策及び非行防止体制づくりについての進め方
- ④ 教育問題に関し、室蘭市の教育課程の編成替えの届け出についての確認方法と今後の指導方針、小樽市の教育課程の編成の正常化の見通し、新学習指導要領に基づく教育課程と従来の指導内容のそごに対する考え方等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。ついで、

伊藤 武一議員（公明）から、

- ① 80年代における本道工業と地域開発の展望に関し、本道工業の振興についての将来方向と具体的な振興策、地域における都市づくりの将来構想
- ② 財政問題に関し、国の財政再建についての知事の所見、福祉関係予算に対する基本姿勢、道開発予算における国庫負担の特例措置の経過と道の対応、特例措置変更に伴う北海道開発庁の存廃についての見解
- ③ 行政改革に関し、行政改革に対する基本的な考え方、今回の改革についての関係市町村等との協議の進め方、今回改革案におけるビルド面の具体的な計画
- ④ 道民生活にかかわる諸問題に関し、国などが決定する公共料金についての取り組み方、道が決定する公共料金についての基本的な考え方、水道料金の地域間格差是正に対する措置、灯油価格の値上げの妥当性、灯油在庫量の実態、灯油の価格抑制のための指導価格設定などについての国への働きかけ、特別生活資金貸付事業の考え方と貸付手続

⑤ 医療対策に関し、医師確保に対する取り組み方、医療機関における人工透析機能の拡充整備、人工透析患者の通院費助成についての取り組み状況と今後の見通し

⑥ 都市づくりと住宅対策に関し、都市づくりにおける土地の高度利用と居住環境についての考え方、本道における住宅施策と都市づくりの進め方、第4期住宅建設5カ年計画の策定の基本的な考え方

⑦ 米の生産調整に対する知事の取り組み方と国への要請方

⑧ 教育問題に関し、本道の児童生徒の健康と体力の実態及び全国との比較、児童生徒の健康づくりについての具体策、国の教科書無償給与制度の有償化についての対処方針等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。伊藤武一議員（公明）から再質問及び再再質問があり、知事から答弁があって、午後3時34分延会

○12月17日（月） 午前10時13分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問に入り
松本 勇議員（自民）から、

① 道発展計画と地域整備に関し、地域整備についての考え方、札幌広域生活圏の振興策、北方エネルギー開発センター設置の考え

② 老人福祉・医療問題に関し、道老人福祉対策推進委員会の適切な運用によるきめ細かな対応、生きがい対策の推進、老人の健康医療総合対策、第1次医療体制の確保、医師の都市集中の解消と医師不足対策について

質問があり、知事から答弁。ついで、

岩崎 守男議員（社会）から、

① 国際児童年と非行少年問題に関し、本道における青少年非行増加の要因、非行防止対策、各国の取り組み状況、青少年白書発行の考え、児童相談所の積極的な指導強化、児童委員の役割の重視、道立向陽学院の収容状況と女性非行の増加傾向への対応、児童手当存廃についての見解、受験戦争による非行への影響についての見解、女子非行増加の要因、個人の能力を尊重した職業教育の充実、本道の少年

非行の特徴、青少年非行、補導の高い地域と特徴、大人の犯罪の減少傾向と青少年非行増加に対する考え

- ② コンブ産地加工の振興に関し、コンブ加工の振興に対する見解、養殖コンブの生産拡大、コンブ加工不振の原因、流通問題と道内の消費拡大、コンブ加工企業の誘致、加工のための公社設立の考えについて

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。
岩崎守男議員(社会)から再質問及び再再質問があり、知事から答弁の後、保路博夫議員(社会)から議事録精査の議事進行発言があって、午前11時59分休憩、午後1時48分再開。知事から、休憩前の岩崎守男議員(社会)の再再質問に対し、再答弁。ついで、

久田 保議員(自民)から、

- 道道小樽臨港線建設に関し、臨港線の重要性についての認識、臨港線の都市計画の変更並びに事業促進について

質問があり、知事から答弁。ついで、

小田原 要四蔵議員(社会)から、

- ① エネルギー問題に関し、エネルギー問題の本質についての考え、原子力が当面エネルギー供給の中心でないことについての見解、省エネルギー推進と経済成長などとの関連、代替エネルギーの中心としての石炭の位置づけ、スリーマイル島の原発事故と危険性、原子力発電の経済性、原子力計画の推移の評価、エネルギー問題の政治、経済性
- ② 原子力問題に関する道のPRの姿勢に関し、パンフレットの配布先、配布時期、道議会に配布しない理由、道のPRの基本姿勢、掲載文章の難解性、掲載内容の妥当性、知事の責任と今後の処置について

質問があり、知事から答弁。小田原要四蔵議員(社会)から再質問及び再再質問があり、知事から答弁。ついで、

佐々木 行雄議員(自民)から、

- 交通安全対策に関し、交通安全計画と実績との乖離、第3次北海道交通安全基本計画策定の構想枠組の概要、交通安全に関する課題、提案の具体化、交通事故の致死率の引き下げ、幹線道路の事故抑止、暴走型事故の抑圧、若年、初心運転者の事故対策、マイカー事故の抑止策、機動力の強化、交通事故原因分析に

運転者心理分析の導入、道の特殊条件を加味した運転免許試験の改善の経過と結果、教習所入所時、免許試験受験時に運転適格者テストなどの実施、精神的健康度測定の利用、小、中、高等学校における交通安全教育の取り組みの経過と今後の対策について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。

○12月18日(火) 午前10時10分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、
樫林 巖議員(社会)から、

- ① 雇用、不況対策に関し、季節労働者の就労対策事業の実施についての考え、通年雇用の確保、市町村の就労対策事業に対する助成拡充、積寒給付金制度の延長実現に向けての決意、中高年齢者の雇用促進についての具体的な方針、特定不況地域に対する公共事業の配分及び雇用の創出についての考え方、各種給付金の拡充の必要性、中小企業の金融対策、室蘭港の整備拡充と隣接港との機能調整方
- ② 高等教育の拡充整備に関し、高等教育機関の整備についての進捗状況、室蘭工業大学の将来構想等について

質問があり、知事から答弁。樫林巖議員(社会)から再質問及び再再質問があり、知事から答弁。ついで、

橋 浪蔵議員(道政)から、

- ① 道の行政組織に関し、部内局、室などのあり方、行政改革に伴う道民への影響、付属機関等の機構及び条例、規則等の見直しについての考え方、非常勤、臨時職員の任用の適正化
- ② 道職員の綱紀に関し、勤務時間の適正化についての知事の決意、不祥事防止としての職員の意識改革の方策と管理体制のあり方、職員の処分のあり方
- ③ 教育問題に関し、大学誘致についての検討状況と今後の方針、本道の専修学校の将来展望と育成振興策及び最近の誘致活動に対する見解、高等学校の整備拡充についての取り組み方、特色ある学校建築についての考え方、道立高校の屋内体育館の拡充方、生涯教育としての定時制教育の拡充に対する考え方

- ④ 苫東開発に関し、石油の国家備蓄とコールセンターの早期実現及び波及効果の向上に対する基本的な姿勢、苫東石油備蓄基地タンク建設に当たっての地場産業の活用についての対応状況と今後の見通し等について

質問があり知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後零時1分休憩、午後1時15分再開。ついて、

岡本 栄太郎議員（社会）から、

- ① 減反問題に関し、今回配分された転作目標面積の受けとめ方、第2期転作以降の対策、国及び全国中央会の転作配分見通しに対する知事の見解、転作による所得の保障についての考え方、転作面積の限界に対する見解、計画加算の算定基礎、国に対する道の対応姿勢、北農中央会の対応方針に対する所見、道産米の今後の消費拡大策
- ② 酪農対策に関し、酪農近代化計画の達成見通し、明年度の計画生産、輸入の抑制についての今後の取り組み方、国産乳製品の消費拡大対策、酪農経営の改善、安定対策
- ③ 農業試験場の再編整備に関し、農業の試験研究についての基本的な見解、農業試験場の再編整備のあり方等について

質問があり、知事から答弁。岡本栄太郎議員（社会）から再質問があり、議事進行の都合により、午後2時6分休憩、午後3時10分再開。知事から休憩前の岡本議員の再質問に対する答弁の後、岡本議員から再再質問、知事から答弁。ついて、

柳谷 正一議員（公明）から、

- ① 医療、保健問題に関し、北海道保健医療基本計画の進め方と関係機関、団体との調整見通し、地方、地域センター病院に対する助成制度の拡充
- ② 中小企業対策に関し、企業倒産についての現状認識、経営安定対策の措置状況と今後の取り組み方
- ③ 消費、流通対策に関し、本道における冬野菜の確保と価格の安定対策、冬期移入野菜契約出荷促進事業の品目拡大
- ④ 酪農、畜産問題に関し、転作対策としての肉用牛の振興方策、酪農経営の安定対策について

質問があり、知事から答弁。柳谷正一議員（公明）か

ら再質問、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長し、

本間 喜代人議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、岩田元道商工観光部長の勧奨退職金訴訟にかかわる判決についての所見、勧奨分の退職金の取り扱い、副知事の現行2人体制の存続期間及び婦人の任用についての見解、知事の自衛隊制服による一日総監にかかわる自衛隊に対する基本姿勢と日ソ間の問題解決への影響、綱紀粛正についての知事の政治責任
- ② 行政改革に関し、今回の行政改革の効果と実施を強行する意思の有無
- ③ 開発問題と道民生活にかかわる問題に関し、石狩湾新港の国直轄工事の変更に伴う対応経過、変更手続きの合法性と国への対処方針、苫東住宅団地の地域振興整備公団との交渉経過と売却の見通し及び公団が条件変更をしない場合の対処策、苫東の活断層と石油備蓄基地建設との関連、小樽運河と石造倉庫群の取り扱いについての今後の方針、福祉灯油制度実施の考え、道営住宅家賃の差額未払い者に対する措置のあり方、住宅供給公社の運営についての指導状況と今後の対処策、公社役職員の給与及び退職金の妥当性
- ④ 教育問題に関し、私学助成の維持方、教育長計後期実施計画の策定作業の進め方、赤平西高校の協賛会事業に伴う生徒、PTA関与による寄付行為の適否及び校地内道路の舗床についての道教委の寄付採納の有無と維持補修の責任の所在等について

質問があり、知事、代表監査委員及び教育長から答弁。本間喜代人議員（共産）から再質問、知事及び代表監査委員から答弁。本間議員から再再質問、知事から答弁があって、質疑並びに一般質問を終結。ついて、

工藤啓二議員（公明）から、予算及び決算に関する案件について、本議会に31人からなる予算特別委員会及び27人からなる決算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく決定の後、次の委員を議長指名（配付名簿のとおり）により選任のうえ、議案第1号ないし第11号、第16号、第17号及び第25号ないし第38号は予算特

別委員会に、報告第1号は決算特別委員会にそれぞれ付託した。

次に、残余の案件について、議案第12号、第13号、第19号ないし第21号及び第24号は総務委員会に、議案第14号は商工労働委員会に、議案第15号及び第39号は文教林務委員会に、議案第18号、第22号及び第23号は建設委員会にそれぞれ付託した。

○予算特別委員（31人）

小田原要四蔵（社会）	桜井 外治（自 民）
佐々木行雄（自 民）	勝木 省三（道 政）
橋 浪蔵（道 政）	土屋 良三（自 民）
久田 保（自 民）	山口 真人（自 民）
長岡 寅雄（社 会）	柳谷 正一（公 明）
川崎 守（共 産）	米村 邦敏（社 会）
輪島 幸雄（社 会）	岩崎 守男（社 会）
石崎喜太郎（自 民）	岩田 徳弥（自 民）
宇川 源吉（自 民）	川口 常人（自 民）
中崎 昭一（自 民）	伊藤 豪（道 政）
古川 靖晃（自 民）	伊藤 知則（自 民）
宇野 真平（自 民）	小笠原 孝（自 民）
工藤万砂美（自 民）	鈴木 誠二（社 会）
舟山 広治（社 会）	中田 繁夫（社 会）
藤井 虎雄（社 会）	阿部恵三男（自 民）
田刈子政太郎（自民）	

○決算特別委員（27人）

神本 三也（社 会）	伊藤 弘（自 民）
高橋 康之（自 民）	勝木 省三（道 政）
中川 義雄（自 民）	松本 勇（自 民）
青山 正男（自 民）	関根 建二（社 会）
工藤 啓二（公 明）	岡本栄太郎（社 会）
北村 義和（自 民）	佐々木利昭（自 民）
寺崎 政朝（自 民）	高田 忠雄（道 政）
小野 秀夫（道 政）	米田 忠雄（自 民）
大平 秀雄（自 民）	小沢 栄吉（自 民）
舟山 広治（社 会）	中田 繁夫（社 会）
本間喜代人（共 産）	星野 健三（社 会）
塚本 肇（社 会）	水沼徳一郎（自 民）
村上 彝明（自 民）	東 典俊（自 民）
高橋正四郎（自 民）	

次に、各委員会付託議案審査のための休会についてはかり、異議なく12月19日から12月21日まで3日間休会し、22日に再開することに決定して、午後5時12分散会。

○12月22日（土） 午後4時24分開議、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時25分休憩、午後8時54分再開し、諸般の報告（議案第1号については撤回し、組替のうえ再提出を求めるの動議の提出など）の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号を議題とし、鈴木誠二予算特別委員長（社会）から議案第1号ないし第11号、第16号、第17号及び第25号ないし第38号について、伊藤知則総務委員長（自民）から議案第12号、第13号、第19号ないし第21号及び第24号について、池島信吉商工労働委員長（社会）から議案第14号について、熊谷克治文教林務委員長（社会）から議案第15号及び第39号について、水沼徳一郎建設委員長（自民）から議案第18号、第22号及び第23号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、岩崎守男議員（社会）ほか35人から提出の議案第1号については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるの動議に関する趣旨説明を行い、討論に入り、川崎守議員（共産）から議案第11号、第18号及び第24号に関する反対討論があって、討論終結。ついで、採決に入り、まず、岩崎守男議員ほか35人提出の動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもってこれを否決。次に、議案第1号、第18号及び第24号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第11号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第2号ないし第10号、第12号ないし第17号、第19号ないし第23号及び第25号ないし第39号を問題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決。ついで、

日程第2 議案第40号を議題とし、知事から追加提案説明があり、委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり同意議決。ついで、

日程第3 意見案第3号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から反対討論があって、討論終結。ついで、採決に入り、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決。ついで、

日程第4 意見案第1号及び第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なくいずれも原案のとおり可決。ついで、

日程第5 請願、陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、いずれも委員会決定（採択5件）のとおり決定。

次に、閉会中報告第1号継続審査の件を議題とし、異議なく決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。次に、閉会中請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を議題とし、異議なく各常任委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、継続審査の報告第1号を除き、すべて議了。西尾六七議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後9時31分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、12月18日設置され、昭和54年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案27件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、分科正副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に岩崎守男君、副委員長に中崎昭一君、第2分科会は、委員長に宇川源吉君、副委員長に舟山広治君を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、19日から各部所管の審査に入り、本日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、先ほどの委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、台風20号による暴風雨災害対策に要する経費のほか、当面措置を要する経費及び国庫支出金などの確定に伴う経費、道職員の給与改定等について所要の措置を講じよ

うとするものでありまして、その総額は、一般会計及び特別会計を合わせ504億400万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なものを申し上げます。

今日の食糧情勢、特に輸入外圧に対する道の見解と姿勢について、道産米の流通に関する道の行政責任について、米の減反問題に対する道の取り組みについて、北海道環境影響評価条例第2条第1項及び第2項の対象拡大と体制の整備について、夏季、冬季休暇の取り扱いについてなどであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号、第11号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会におきまして、岩崎守男君外9人から、議案第1号につきましては、これを撤回し、組替えのうえ再提出を求めるの動議が提出され、本動議を採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、したがって、議案第1号は、原案可決、議案第11号につきましては、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、残余の案件、議案第2号ないし第10号、第16号、第17号及び第25号ないし第38号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、短期間にもかかわらず、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって私の報告を終わります。

第4回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
12. 11	1	昭和54年度北海道一般会計補正予算（第4号）	予算特別	12. 22	原案可決
同	2	昭和54年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	3	昭和54年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	4	昭和54年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	5	昭和54年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	6	昭和54年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	7	昭和54年度北海道大麻団地開発事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	8	昭和54年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	9	昭和54年度北海道病院事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	10	昭和54年度北海道有林野事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	11	昭和54年度北海道電気事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	12	北海道副知事定数特例条例案	総 務	同	同
同	13	北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	14	北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	15	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	16	財団法人自然公園園美化管理財団に対する出資の件	予算特別	同	同
同	17	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	18	都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	19	勇払郡穂別町と同郡鶴川町との境界変更の件	総 務	同	同
同	20	釧路郡釧路村を釧路町とする件	同	同	同
同	21	第3種空港（仮称新女満別空港）の設置及び管理に関する協議の件	同	同	同
同	22	北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件	建 設	同	同
同	23	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	同	同	同
同	24	財産の取得（勇払郡厚真町字浜厚真 277 番ほか30筆）に関する件	総 務	同	同
12. 15	25	昭和54年度北海道一般会計補正予算（第5号）	予算特別	同	同
同	26	昭和54年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	27	昭和54年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	28	昭和54年度北海道大麻団地開発事業特別会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	29	昭和54年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	30	昭和54年度北海道病院事業会計補正予算（第4号）	同	同	同
同	31	昭和54年度北海道有林野事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	32	昭和54年度北海道電気事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	33	昭和54年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第2号）	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託 委員 会	議決月日	議事結果
12. 15	34	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	12. 22	原案可決
同	35	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	37	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	38	北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	39	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
12. 22	40	北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決

報 告

提出月日	番号	件名	付託 委員 会	議決月日	議事結果
12. 11	1	昭和53年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	12. 22	継続審査
同	2	昭和53年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			報告のみ
同	3	昭和53年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	4	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月12日 5件、11月15日 1件、11月26日 1件専決処分）			同

第 4 回定例会において議員から提出のあった案件

意 見 案

提出月日	番号	件名	提 出 者	議決月日	議事結果
12. 22	1	義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見書	熊谷克治君ほか12人	12. 22	原案可決
同	2	過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望意見書	伊藤知則君ほか13人	同	同
同	3	電気料金改定に関する要望意見書	池島信吉君ほか12人	同	同

動 議

提出月日	件名	提 出 者	議決月日	議事結果
12. 22	議案第1号（昭和54年度北海道一般会計補正予算（第4号））については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるの動議	岩崎守男君ほか35人	12. 22	否 決

意見案

意見案第1号

(熊谷克治君ほか12人提出)
12月22日 原案可決

義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度の 存続に関する要望意見書

義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度は、日本国憲法第26条に掲げる義務教育無償の理想を実現する施策として、学校教育法において使用が義務づけられている教科用図書を無償給与し、教育費の父母負担の軽減を図ることを目的とした制度である。

この制度は、昭和38年度実施以来、今日まで10数年を経て国民の間に深く定着しており、父母の家計費に占める教育費の増加等の現状からも現行制度を改廃することなく存続するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
文部大臣

意見案第2号

(伊藤知則君ほか13人提出)
12月22日 原案可決

過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望意見書

人口の過度の減少を防止し、地域の振興を図るため、昭和45年過疎地域対策緊急措置法が施行されて以来、各種の施策が強力的に講ぜられ、相当の成果を収めているところであるが、同法は、昭和55年3月31日をもってその効力を失うものとされている。

しかしながら、本道の過疎地域の人口は、減少率が鈍化したとはいえ、今なお減少が続いており、地域の経済産業活動に影響を及ぼしているところであり、人口の定住と地域の均衡ある発展を図るためには、今後、さらに適切な施策を強力的に推進する必要がある。

また、本道は、面積が広大であり、加えて、積雪寒冷の地であることから、過疎地域の生活は、他の地域にみられない厳しさを余儀なくされている。

よって、国においては、このような本道の地域的特殊性に十分配慮のうえ、強力な過疎地域振興施策を遂行するための法律を速やかに制定するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、自治大臣 } 各通
国土庁長官

意見案第3号

(池島信吉君ほか12人提出)
12月22日 原案可決

電気料金改定に関する要望意見書

北海道電力株式会社は、去る11月16日電灯・電力料金平均で38.83パーセントの値上げ申

請を行ったが、電気料金の値上げが道民生活及び本道の産業経済に及ぼす影響は極めて大きく、加えて物価への連動を考えると、その値上げは極めて重大であり、慎重な配慮が求められるところである。

よって、政府においては、次の事項を配慮して強く指導するよう要望する。

記

1. 電気料金算定にあたり、厳正な査定を行うとともに、将来にわたり政策的配慮を加え、電灯・電力料金値上げの幅を最少限度にとどめるべきである。
1. 料金改定時期については、全国的な均衡を失うことのないよう措置するべきである。
1. 家庭用電灯料のうち、特に、公共福祉施設、生活保護世帯、公衆街路灯などについては、従来同様の特別措置を講ずべきである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業 } 各通
大臣、経済企画庁長官

請 願 ・ 陳 情

① 第4回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	旭川肢体不自由児父母の会 会長 平山ひろ子	文教林務	継続審査
26	水田利用再編対策実施の適正化に関する件	中富良野町西中3 農事組合長 谷 敏雄	農 務	一部採択
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	北海道私立学校教職員組合 中央執行委員長 泉 脩	文教林務	継続審査
28	美唄養護学校の機能充実の件	空知生活と健康を守る会 岩見沢障害者部 石田ルミ江	同	同
29	養護学校高等部早期開校の件	同	同	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	白老高等学校全日制普通科 設置促進期成会 会長 高橋 辰夫	同	同
31	養護学校設置に関する件	室蘭市精神薄弱者育成会 手をつなぐ親の会 会長 猪股 鉄	同	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	苫小牧公立高校新設を すすめる会 代表 平井 湜	同	同
33	北海道難病センター設置の早期実現と総合的難病対策確立の件	札幌市中央区大通西9丁目 北海道難病団体連絡協議会 代表 伊藤 建雄	厚 生	同
34	農業改良普及事業の充実強化に関する件	札幌市中央区北1条西7丁目 北海道農業改良普及協会 会長 長谷川富一	農 務	採 択
35	看護学生の修学資金増額等に関する件	全日本看護学生自治会連合北海道 ブロック 北海道地方学生寮 自治会連合 代表 斎藤清美	厚 生	継続審査
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	北海道教育大学札幌分校 学生自治会 執行委員長 佐藤 雅裕	文教林務	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件	小樽市長 志村和雄ほか2人	建 設	継続審査
10	高齢者福祉事業団に対する運営費助成の件	小樽市高齢者福祉事業団 会長 阿部亀次郎	厚 生	同

② 継続審査中のものであって、第4回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審 査 の 結 果
3	旧釧路第一高校を道立高校として再建する件	文教林務	採 択
22	道立石狩高等学校の間口増に関する件	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審 査 の 結 果
7	釧路村に町制施行の件	総 務	採 択

③ 更に継続審査にされるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
9	伏古3条4丁目交差点の信号機早期設置の件	総 務
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	同
24	登別市に警察署設置の件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
9	札幌市民生活協同組合の留萌市出店反対の件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同
16	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
23	国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の確立に関する件	同
1	苫小牧市錦岡団地（道営住宅）の下水道整備に関する件	建 設
7	生活協同組合市民生協が提出した店舗建設の建築確認申請書の取扱いに関する件	同
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	文教林務
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	同
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
19	養護学校高等部間口増に関する件	同
20	道立釧路養護学校の通学バスの増車を求める件	同
21	道立普通高校建設に関する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
6	道立高等学校（全日制普通科）の設置に関する件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○12月4日（火） 午後3時17分、議会運営委員会室において開議、午後6時32分散会

委員長 吉田 政一（自民）

① 委員長から、元道議会議員井川伊平氏（札幌市選出、10期～15期、11月2日）及び丸山正義氏（小樽市選出、12期、11月15日）の逝去について報告。

② 委員長から、さきに実施した他府県における議会運営状況調査の概要について、報告書により報告、異議なく了承。

③ 委員長から、議会効率化小委員会の審議状況について、これまで小委員会において確認決定された事項（別記）を報告の後、これを本委員会の決定事項とすることを異議なく決定。

なお、このほか残されている検討事項について、引き続き協議することとなっている旨を報告。

④ 第4回定例会の招集期日を12月11日とすることを了承。会期は、12日間とすることに決定。

⑤ 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

⑥ 第4回定例会の日程について、今定例会は12月17日の月曜日は休会とせず、一般質問を行うこととし、次のとおりとすることに異議なく決定。

▽ 第4回定例会日程

12月11日	本会議（提案説明）
12日～13日	休 会
14日～15日	本会議（代表質問）
16日	休 会
17日～18日	本会議（一般質問）
19日～21日	休 会
22日	本会議

⑦ 代表質問について、順位は自民、社会、道政、公明の順とし、通告は、12月12日正午ま

でとすることに決定。

⑧ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることとし、通告は、12月14日までとすることに決定。

⑨ 10月25日の委員会において保格 博 夫 委員（社会）から発言のあった木下一見議員（道政）に対して措置要求の件について、各委員から発言の後、午後3時29分休憩、午後6時26分再開、伊藤豪委員（道政）から発言があって同委員退席の後、議長から、本件に関する措置について報告。

⑩ 保格博夫委員（社会）から、議長の本会議における発言者に対する呼称方法について問題提起の発言があり、委員長から応答。

（別記）

議会効率化小委員会審議経過及び結果について
(54.12.4)

◎ 決定事項

○ 決算特別委員会の審査について

1. 「一般会計及び特別会計決算については、第4回定例会の当初において提案を受け、27人の委員をもって委員会を構成し、原則として翌年第1回定例会招集前に審査を終わるようにする。（43.9.24決定、46.12.10改正、52.6.13整理確認）」の申し合さを再確認する。

（上記に関し、別紙事項を各派申し合せ確認事項として、議会運営委員会会議録に記録する。）

2. 総体質疑について

(1) 総体質疑は行うこととする。

(2) 総体質疑を行う各派の質問者は1名とする。

(3) 答弁を求める者は原則として知事及び監査委員、出納長の範囲内とする。ただし、知事が出席できない場合は、副知事の代理出席を認めるものとする。

（別紙）

各派申し合せ確認事項（議会運営委員会会議録に記録する。）

決算特別委員会の審査については、議運申し合せ事項を基本原則とする。

（43.9.24決定、46.12.10改正、52.6.13整理確認）

ただし、審査の状況等により決算特別委員会において協議の上、特に必要と認めたときは第2回定例会前までに審査を終了するよう申し合せ確認する。

なお、この申し合せの趣旨により、決算特別委員会において決定した委員会の審査日程はこれを遵守する。

○12月5日（水） 午前10時44分、議会運営委員会室において議会効率化小委員会を開議、午後1時39分散会

小委員長 吉田 政一（自民）

- ① 検討事項について、配付資料のとおり確認の後、順次検討を進めることを異議なく決定。
- ② 「本会議の運営について」の検討に入り、各委員から意見の交換を行った後、本件については継続検討事項とすることに決定。

○12月10日（月） 午後2時29分、議会運営委員会室において開議、午後2時35分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、元道議会議員竹村マヤ氏（札幌市選出、16期、12月7日）の逝去について報告。
- ② 総務部次長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 議案調査のため12月12日から13日まで休会することに決定。
- ④ 予算特別委員会の構成は、31人（自民17人、社会9人、道政3人、公明1人、共産1人）、委員長、第1分科委員長及び第2分科副委員長は社会、副委員長、第2分科委員長及び第1分科副委員長は自民とすることに決定。ついで、決算特別委員会の構成は、27人（自民15人、社会7人、道政3人、公明1人、共産1人）、委員長は社会、副委員長は自民とすることに決定。両特別委員名簿の提出は12月15日正午まで、設置動議は公明とすることを了承。

○12月11日（火） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時

36分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

元議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件（12月11日から12月22日まで12日間）

日程第3 議案第1号ないし第24号及び報告第1号

提出議案に関する知事の説明

議案調査のための休会日の決定（12月12日から12月13日まで）

○12月14日（金） 午前9時34分、議会運営委員会室において開議、午後7時9分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ② 代表質問の通告（4人）について報告、本日は2人行うことに決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定、午前9時36分休憩、午後7時5分再開。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号

質疑並びに一般質問（2人）

- ④ 休憩前の本会議における渋谷澄夫議員（社会）の北方領土にかかわる質問についての知事答弁に関する保格博夫議員（社会）の議事進行発言について、副議長及び川崎守オブザーバー代理（共産）から発言の後、副議長発言のとおり進めることとし、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することを異議なく決定。

○12月15日（土） 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午前11時

16分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 給与案件の追加提案に関し、総務委員会開催のため午前9時41分休憩、午前11時8分再開。
- ② 総務部長から、昨日の本会議における渋谷澄夫議員（社会）の質問について知事から再答弁したい旨発言があり、異議なく了承。
- ③ 総務部長から、追加提出案件について説明。本件については、本日渋谷澄夫議員（社会）の質疑終了後、知事の提案説明を行うことを了承。
- ④ 本日の代表質問は、3人行うことに決定。ついで、代表質問の通告内容の変更（一部削除）について了承。
- ⑤ 一般質問の通告（14人）について報告、順位については、従来の例によることとし、議事課長から説明のとおり取り進めることに決定。
- ⑥ 委員長から、予算特別委員会の各分科委員の配分についての調整の結果を報告。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号
質疑並びに一般質問
（代表質問継続）
日程第1の議事中止
追加日程 議案第25号ないし第39号
追加提出議案に関する知事の説明
日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続
代表質問（2人）

○12月17日（月） 午前9時34分、議会運営委員会室において開議、午後1時31分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 一般質問の通告の取下げ及び変更について異議なく了承。
- ② 本日の一般質問は、7番が取下げのため進

行状況により8番まで行うことに異議なく決定。

- ③ 本日の本会議の議事は、一般質問7人とすることに決定、午前9時39分休憩、午後1時19分再開。
- ④ 休憩前の本会議における岩崎守男議員（社会）の質問に対する知事答弁に関する保格博夫議員（社会）の議事進行発言について、総務部長及び各委員から発言の後、委員長から発言のとおり再答弁を行うことを異議なく了承。次に、本件に関し、議長を通じ理事者に申入れをすることを異議なく了承。

○12月18日（火） 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午前9時42分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 一般質問の通告の取下げ及び変更について了承。
- ② 本日の一般質問は5人行うことに異議なく決定。
- ③ 予算及び決算特別委員会について、配付の両特別委員名簿のとおり指名することに異議なく決定。設置動議は、工藤啓二委員（公明）に提出願うことを了承。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑤ 各委員会付託議案審査のため、12月19日から12月21日まで休会し、12月22日再開することに決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第39号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（5人）
（質疑終結宣告）

- 予算及び決算特別委員会設置
- 予算及び決算特別委員の指名
- 議案の各委員会付託
各委員会付託議案審査のため休会の決定

○12月22日（土） 午後1時4分、議会運営委員会室において開議、午後8時18分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。午後1時5分休憩、午後4時18分再開。
- ② 取りあえず時間延長することに異議なく決定して、午後4時18分休憩、午後8時12分再開。
- ③ 総務部長から、追加提出案件について説明。
- ④ 追加提出の議案第40号について、本日の本会議において議決する扱いとすることを異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況並びに決算特別委員会において審査中の「昭和53年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件」については、本日の委員会において継続審査の扱いとすることに決定した旨を報告。
- ⑥ 岩崎守男議員（社会）ほか35人提出の議案第1号について撤回のうえ、組替えを求めるの動議について、本日の本会議に上程する扱いとすることに異議なく決定。
- ⑦ 意見案第1号ないし第3号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第39号

予算特別、総務、商工労働、文教林務、建設各委員長の報告
岩崎守男議員の議案第1号について撤回のうえ、組替えを求めるの動議に関する説明

（討論）

1. 川崎守議員の議案第11号、第18号及び第24号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 岩崎守男議員ほか35人提出の動議を問題とし、起立により採決（自民、道政反対）

2. 議案第1号、第18号及び第24号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおりに決することについて起立により採決（社会、公明、共産反対）
3. 議案第11号を問題とし、委員長報告（可決）のとおりに決することについて起立により採決（共産反対）
4. 議案第2号ないし第10号、第12号ないし第17号、第19号ないし第23号及び第25号ないし第39号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおりに決することについて簡易採決

日程第2 議案第40号

追加提出議案に関する知事の説明

（委員会付託省略）

（採決）

1. 本件を原案のとおりに同意することについて簡易採決

日程第3 意見案第3号

意見案第3号 電気料金改定に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（討論）

1. 本間喜代人議員の意見案第3号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 本件を原案のとおりに決することについて起立により採決（共産反対）

日程第4 意見案第1号及び第2号

意見案第1号

義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見書

意見案第2号

過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件をいずれも原案のとおりに決することについて簡易採決

日程第5 請願、陳情審査の件（採択5件）
（委員長報告省略）

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○12月1日(土) 午前11時7分、第5委員会室
において開議、午前11時45分
散会

委員長 伊藤 知則(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第7号 釧路村に町制施行の件 (採択)
寺崎政朝委員(自民)から、釧路村の現
地調査の結果を報告の後、総務部長から釧
路村の状況について説明の後、

一 般 議 事

- ① 総務部長から、行政改革としての出先機関
の再編整備について説明の後、
小田原要四蔵委員(社会)から、行政改革
についての基本的な考え方、実施に当っての
関係者と話し合いの必要性について
質疑及び意見があり、総務部長から答弁。
- ② 総務部長から、道職員の不祥事件について
報告。

○12月10日(月) 午後2時27分、第5委員会室
において開議、午後3時10分
散会

委員長 伊藤 知則(自民)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外調査及び
中央折衝の概要について報告書により報告、
異議なく了承。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及
び警察本部総務部長から、第4回定例会提出
予定案件について説明。
- ③ 委員長から、歳末取締り状況の視察につい
てはかり、異議なく実施することに決定。派
遣委員等については、委員長に一任すること
とした。
- ④ 小野秀夫委員(道政)から、岩田元商工観
光部長の勤奨退職に対する地裁判決に関連し
て、過去における同種事件の有無、道の包括
的な見解、控訴についての道の対応状況と本
人との対応状況、今後同種ケース発生の場合

(採決)

1. 本件をいずれも請願、陳情審査報告
書(採択)のとおり決することについ
て簡易採決

閉会中継続審査の件

決算特別委員長から報告第1号につい
て、申し出のとおり閉会中の継続審査
に付することについて簡易採決

閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の
件

各常任委員長から申し出のとおり閉会
中継続審査または調査に付することに
ついて簡易採決

(議長の閉会あいさつ)

の対処方針、判決内容に対する所見及び勧奨退職取扱い要綱との関連、控訴に対する期待の有無、結審した場合に過払金を受け取る考え、本人に謝罪する考え等について質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

○12月15日（土） 午前9時50分、第5委員会室
において開議、午前9時55分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、歳末取締りの状況視察実施について口頭報告。
- ② 総務部長から、第4回定例会追加提出案件について説明。

○12月22日（土） 午後5時24分、第5委員会室
において開議、午後5時40分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第12号（北海道副知事定数特例条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第13号（北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退隠料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第19号（勇払郡穂別町と同郡鶴川町との境界変更の件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第20号（釧路郡釧路村を釧路町とする件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑤ 議案第21号（第3種空港（仮称新女満別空港）の設置及び管理に関する協議の件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑥ 議案第24号（財産の取得に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、小田原

要四蔵委員（社会）から、本件には反対との意思表示があり、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望意見案の発議についてはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、昭和55年度国費予算に関する中央折衝並びに過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望のための中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員については、委員長に一任することとした。

厚 生 委 員 会

○12月10日（月） 午前10時44分、第9委員会室
において開議、午後零時33分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、保格博夫委員（社会）から措置要求のあった本会議における木下一見議員（道政）の発言について、議会運営委員会及び本委員会の理事会において議長の措置を了とされた旨を報告。
- ② 委員長から、さきに実施した道外調査及び昭和54年度沖繩戦没者慰霊祭参加の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、北海道児童福祉審議会委員に、作田政次委員（自民）、輪島幸雄委員（社会）をそれぞれ推せんすることをはかり、異議なく決定。

○12月22日（土） 午後5時17分、第9委員会室
において開議、午後5時19分

散会

委員長 宇野 真平（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和55年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。
- ③ 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会提出予定案件について説明の後、
保格博夫委員（社会）から、灯油購入資金貸付金の返済不能者に対する取扱いについて質疑があり、民生部長から答弁。
- ④ 民生部長から、さきの委員会において山家勇委員（社会）から調査要求のあった銀山学園の件について、中間報告の後、
山家勇委員（社会）から、社会福祉法人札幌報恩学園の銀山学園以外の施設に対する調査方、道社協の運営問題に対する報告方等
砂原清治委員（社会）から、53年度の社会福祉施設に対する監査率及び54年度の見込み等について
質疑及び要望があり、民生部長から答弁。
- ⑤ 衛生部長から、公衆浴場入浴料金統制額の改定について報告の後、
砂原清治委員（社会）から、燃料費上昇率の算定基準日、A重油の価格高騰が予想されるなかでの中間的料金改定の理由
山家勇委員（社会）から、総括原価方式による料金算定方法の再検討、入浴料金審議会と公衆浴場問題協議会との相互関係及び部の対応、明年6月における料金改定の有無、公衆浴場の基本的なあり方の検討方等
輪島幸雄委員（社会）から、本年6月料金改定時及び今回改定時の燃料増加額、12月中の予想額と今回料金改定との関連、料金改定時期の妥当性について
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。
- ⑥ 民生部長及び衛生部長から、行政改革につ

いて説明の後、

保格博夫委員（社会）から、行政改革の実施方法

砂原清治委員（社会）から、行政改革の背景等

山家勇委員（社会）から、行政改革の集約担当部局、第2次行政改革の有無及び今後の構想について

質疑、意見及び要望があり、民生部長及び衛生部長から答弁。

保格博夫委員（社会）から、行政改革の実施にあたっての基本的なあり方及び議会に対する意見の求め方、議会における審議方法等について発言があり、委員長から、本件の取り扱いについて関係常任委員長等と協議のうえ対処する旨応答。

商 工 労 働 委 員 会

○12月10日（月） 午後2時56分、第8委員会室において開議、午後3時9分散会
委員長 池島 信吉（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した沖縄県の商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 商工観光部長から、道立地下資源調査所に係る職員の旅費支出問題に関する調査経過について報告。

○12月22日（土） 午後5時50分、第8委員会室において開議、午後5時56分散会
委員長 池島 信吉（社会）

付託案件の審査

- 議案第14号（北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案）を議題とし、労働部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、電気料金改定に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案並びに昭和55年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

農 務 委 員 会

○12月3日(月) 午後2時30分、第7委員会室
において開議、午後3時56分
散会
委員長 武部 勤(自民)

一 般 議 事

- 農務部長から、昭和55年度水田利用再編対策について報告の後、
岡本栄太郎委員(社会)から、本道に配分された転作目標面積に対する受けとめ方と対処方針、計画加算についての国の姿勢、限度数量の配分と転作面積との関連、本道稲作に対する考え方等
工藤啓二委員(公明)から、今回の減反問題に対する知事の対応姿勢、農民の反応及び慎重な対処方等について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○12月10日(月) 午前10時52分、第7委員会室
において開議、午後零時散会
委員長 武部 勤(自民)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度水田利用再編対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 農務部長から、昭和54年度道営競馬開催成績について報告。

- ④ 岡本栄郎委員(社会)から、農業試験場等の機構改革に関し、さきの委員会における試験研究機関の整備についての報告との関係、今回の機構改革の妥当性、受皿をつくらずに施設を廃止することについての考え方、酪農検査所についての考え方と農業試験場の整備の時期等

湯田倉治委員(道政)から、今回の機構改革の提案主体

委員長から、委員会への機構改革に関する必要資料の提出と現在に至った経緯の報告方について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ⑤ 岡本栄太郎委員(社会)から、減反問題に対する道の意思決定の時期、ニュージーランドから帰国後の知事の対応状況、今後の道の取り組み姿勢について
質疑があり、農務部長から答弁。

○12月22日(土) 午後5時15分、第7委員会室
において開議、午後5時19分
散会
委員長 武部 勤(自民)

請願、陳情の審査

請 願

- 第26号 水田利用再編対策実施の適正化に関する件(本文中、後段の農業団体にかかる判断の部分を除き採択)
- 第34号 農業改良普及事業の充実強化に関する件(採択)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきの委員会において要求した農業試験場等に関する資料は手元に配付されているが、質疑等については次回以降の委員会で行う旨の発言があった。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、昭和55年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

建設委員会

○12月10日（月） 午後2時50分、第4委員会室
において開議、午後3時32分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した沖縄県の建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 佐々木利昭委員（自民）から、昭和50年企業会計決算特別委員会の住宅都市部長答弁に係る真駒内、大塚、北広島団地に次ぐ第4の団地開発の全体計画と計画の中の篠路拓北団地開発についての調査、報告要求があった。
- ④ 萩上元春委員（社会）から、道営住宅の入居実態と道公営住宅条例に基づく敷金制度撤廃の考え等について
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。
- ⑤ 土木部長及び住宅都市部長から、道職員のゴルフに関する新聞報道の事実関係等について報告の後、
萩上元春委員（社会）から、道職員の不正疑惑問題に対する道幹部の認識と自戒方について要望があった。

○12月22日（土） 午後5時17分、第4委員会室
において開議、午後5時25分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第18号（都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第22号（北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件）及び議案第23号（河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件）を順次議題とし、土木部長から説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決

することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和55年度国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 土木部長から、昭和55年度国費予算の中央折衝について発言。

農地開発委員会

○12月10日（月） 午後2時18分、第3委員会室
において開議、午後2時28分
散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内及び府県における農業基盤整備事業の事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、さきに実施した昭和55年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月22日（土） 午後5時17分、第3委員会室
において開議、午後5時19分
散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一般議事

- ① 委員長から昭和55年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議な

く決定。

業交渉の結果について報告。

- ⑤ 水産部長から、道漁連の不祥事について経過報告。

水産委員会

○12月10日（月） 午後2時48分、第6委員会室
において開議、午後3時20分
散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産部長から、水産部所管に係る機構改革について説明の後、
川崎守委員（共産）から、今議会に関連条例等提案の有無、今回の改革案の報告と実施との関係等について
質疑及び意見があり、水産部長から答弁。
滝沢勉委員（自民）から、こんぶ検査の廃止について今後の検討の余地等
星野健三委員（社会）から、今回の機構改革についての取扱い等について
発言があり、委員長から理事会にはかり協議する旨応答し、午後3時13分休憩、午後3時19分再開の後、委員長から、理事会における協議内容を報告。
- ③ 委員長から、さきに実施した道内水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○12月22日（土） 午後5時47分、第6委員会室
において開議、午後7時散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、昭和55年度水産関係国費予算について説明。
- ② 委員長から、昭和55年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 水産部長から、日ソ漁業委員会及び日ソ漁

文教林務委員会

○12月10日（月） 午前10時50分、第10委員会室
において開議、午前11時10分
散会、委員長事故のため、
副委員長 平野 明彦（自民）

請願・陳情の審査

請願

- 第3号 旧釧路第一高校を道立高校として
再建する件 （採択）
- 第22号 道立石狩高等学校の間口増に関する
件 （採択）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道外文教林務事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 教育長及び林務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

本日聴取した陳情

道立高等学校設置について
早来町長、白老町長

○12月22日（土） 午後5時14分、第10委員会室
において開議、午後5時26分
散会
委員長 熊谷 克治（社会）

付託案件の審査

- 議案第15号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）及び議案第39号（北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、昭和55年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 林務部長から、湧別森林組合の問題について概要報告。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○12月10日（月） 午後4時2分、第1委員会室
において開議、午後4時5分
散会

委員長 作田 政次（自民）

- ① 開発調整部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した他府県における開発事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

北方領土対策特別委員会

○12月10日（月） 午後3時50分、第3委員会室
において開議、午後4時散会
委員長 北村 義和（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した北方領土問題の解決促進並びに日ソ平和条約締結促進に関する要望等のための委員派遣の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、昭和55年度北方領土対策関係国費予算の概要及び総理府総務長官の現地視察日程について説明。
- ③ 委員長から、総理府総務長官の現地視察に伴う委員派遣並びに他府県議会に対する再決議要請の実施についてはかり、それぞれ異議なく決定。

予算特別委員会

○12月18日（火） 午後5時17分、第1委員会室
において開議、午後5時29分
散会
委員長 鈴木 誠二（社会）

正副委員長の互選

- ① 田莉子政太郎臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、宇川源吉委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、鈴木誠二委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、岩崎守男委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、古川靖晃委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後5時22分休憩、午後5時25分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置して質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（15人）

桜井 外治（自 民）	勝木 省三（道 政）
土屋 良三（自 民）	長岡 寅雄（社 会）
柳谷 正一（公 明）	米村 邦敏（社 会）
岩崎 守男（社 会）	岩田 徳弥（自 民）
中崎 昭一（自 民）	伊藤 豪（道 政）
古川 靖晃（自 民）	宇野 真平（自 民）
工藤万砂美（自 民）	中田 繁夫（社 会）
田莉子政太郎（自 民）	

○第2分科委員（15人）

小田原要四蔵（社 会） 佐々木行雄（自 民）

橋 浪蔵（道 政）	久田 保（自 民）
山口 真人（自 民）	川崎 守（共 産）
輪島 幸雄（社 会）	石崎喜太郎（自 民）
宇川 源吉（自 民）	川口 常人（自 民）
伊藤 知則（自 民）	小笠原 孝（自 民）
舟山 広治（社 会）	藤井 虎雄（社 会）
阿部恵三男（自 民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法について通告の形式により、一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会において協議のうえ、これを行うことをはかり異議なく決定。

第 1 分 科 会

○12月18日（火） 午後5時30分、第1委員会室
において開議、午後5時40分
散会
第1分科委員長
岩崎 守男（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に岩崎守男委員（社会）、分科副委員長に中崎昭一委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議によりこれを行うことをはかり、異議なく決定。理事には、桜井外治委員（自民）、長岡寅雄委員（社会）、勝木省三委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。

- ④ 分科委員外委員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○12月19日（水） 午前10時23分、第1委員会室において開議、午後2時14分散会

第1分科委員長

岩崎 守男（社会）

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

伊藤 豪委員（道政）から、

モーター類似旅館の営業に関し、モーター営業の規制の趣旨、モーター類似営業の実態と対処策等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長及び防犯部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午前10時54分休憩、午前10時55分再開。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

(1) 苫東開発に関し、知事の記者会見における「計画の弾力的運用」との発言の具体的内容、石油化学の立地にかかる用地売買交渉の経緯と今後の見通し、石油備蓄基地の安全性と活断層にかかる調査結果

(2) 国鉄新線建設に関し、新線建設の凍結にかかる道の考えと対応、今後の国と折衝にあたっての基本的考え方

(3) 北東公庫と国の機構改革に関し、日本開発銀行への吸収合併構想と背景及びその後の経過、北東公庫の創立の趣旨と北海道開発への寄与、公庫の利用のしかたと利率、融資対象の改善についての働きかけの必要性等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により、午後零時3分休憩、午後1時26分再開。分科副委員長から、工藤啓二委員（公明）から質疑通告の取り下げがあった旨を報告。

③ 民生部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、川崎守第2分科委員（共産）からの本分科会への出席及び民生部所管

に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することををはかり、異議なく決定の後、

吉田 英治委員（社会）から、

(1) 保育所の整備に関し、道単独の補助事業の拡充、無認可保育所の解消計画

(2) 心身障害者の福祉に関し、重度身障者の通院費の助成に対する検討結果と基本的な考え方、身体障害者の実態調査の早期実施

(3) 社会福祉施設の整備に関し、公的施設と民間施設の格差に対する認識、職員の配置、給与等の実態把握状況と改善についての努力方

(4) 福祉住宅に関し、公営住宅で老人専用住宅を検討する考え等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。分科副委員長から、川崎守委員（共産）から質疑通告の取り下げがあった旨を報告し、民生部所管に対する質疑を終結。

○12月20日（木） 午前10時27分、第1委員会室において開議、午後4時45分散会

第1分科委員長

岩崎 守男（社会）

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

吉野 之雄委員（社会）から、

道立病院の移管に関し、道立病院を町へ移管する理由、医師確保に対する支障、町財政に与える影響、公的病院の赤字の原因、地域医療体系に対する基本的な考え方等について

長岡 寅雄委員（社会）から、

(1) 道立病院の経営等に関し、累積赤字の解消策、医師の確保対策と処遇改善の考え、施設の効率的運用、老朽病院の改築、職員の適正配置と臨時職員の定数化

(2) 道立病院の町立移管に関し、移管に伴う町財政への影響と対処策、移管に対する住民意思の受けとめ方、移管の目標年次等について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時7分休憩、午後1時24分再開、ついで、

吉田 英治委員（社会）から、

- (1) 医療体系の整備に関し、地域センター病院の設置予定地、一次医療体系の充実、道立病院の町への移管に伴う赤字の取扱い
- (2) 脳性マヒ対策に関し、道内の年間出生数及び死産数、岩見沢地域における脳性マヒの健診結果、当該地域での発生率が高い原因、他の地域においても健診を実施する必要性、治療訓練体制の現況
- (3) 下垂体性小人症に関し、道内の患者数と医療対策、早期発見のための対処策、患者友の会の要望の受けとめ方等について

伊藤 豪委員（道政）から、

モーテル類似旅館の営業に関し、住民の反対運動に対する受けとめ方、旅館業法の厳正な運用と建築確認時におけるチェック、行政指導の強化について

中川 隆之委員（道政）から、

道立病院の移管に関し、地域医療の機能低下の懸念と町財政の負担増に対する配慮等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。分科副委員長から、本間喜代人委員（共産）から質疑通告の取り下げがあった旨を報告し、衛生部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後3時5分休憩、午後3時10分再開。

② 生活環境部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第2分科委員（共産）からの本分科会への出席及び生活環境部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定。

湯本 芳志委員（社会）から、

環境影響評価条例に関し、条例の施行状況、運用上の問題点、条例施行に伴う事務量と評価対象を限定したことの妥当性と対象拡大に係る条例改正の考え、関係職員の増強等について

藤井 虎雄委員（社会）から、

石油備蓄基地建設に係わる環境影響評価に関し、今後の手続のスケジュール、評価対象たる地質の性状の内容と断層の扱い、苫東基地内で断層の存在について承知の有無、断層の存在と地震による備蓄基地の安全性に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、午後4時45分散会。

〇12月21日（金） 午前10時36分、第1委員会室において開議、午後5時24分閉会

第1分科委員長

岩崎 守男（社会）

① 生活環境部所管に対する質疑の続行、

川崎 守委員（共産）から、

- (1) 公共施設の公害防止に関し、千歳市の市営食肉処理センターの排水水に対する市の管理状況と適否及び道の指導の十分性、千歳市美々廃棄物処理場の浸出水の美々川への影響と今後の調査のあり方
- (2) 環境保全対策に関し、ウトナイ湖周辺を鳥獣特別保護地区・自然環境保全地域及び公共水域として指定をすることについての考え方、苫東地域の森林保全についての考え方と監督責任の主体、緑化及び育成計画の今後の見通し等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午前11時25分休憩、午前11時30分再開。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

小野 秀夫委員（道政）から、

- (1) 道職員の給与に関し、特殊勤務手当の趣旨及び手当の種類と年間支給額、税務手当の性格と支給の実態、税務行政の変化に伴う手当見直しの考え方と規則との関連及び支給のあり方、地方公務員法の給与規定の解釈のしかた、調整手当の創設の趣旨及び支給地域区分のあり方、異動保障制度と特地勤務手当との関連及び制度の検討の考え方等
- (2) 道職員の勤務時間及び休暇等に関し、勤務時間の取扱いに係る職員団体への提案内容、執務時間の定義について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時51分休憩、午後2時57分再開し、総務部長から休憩前の小野秀夫委員（道政）の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

小野 秀夫委員（道政）から、

道職員の勤務時間及び休暇等に関し、道の執務時間と地方自治法施行規程の執務時間と

の関連及び今後の対応、休息時間の取扱い、遅刻者に対する措置のあり方、道の勤務時間と市町村に対する指導との関係、条例等に基づく勤務時間の実施時期と取り組み姿勢、道の年次休暇と労基法並びに民間の実態との関連、年次休暇以外の休暇の種類、夏季休暇等を内かんで処理する理由と取扱いの妥当性及び職免条例との関連、職員団体との確認の有無、夏季、冬季休暇を廃止する考え、職務専念義務の免除の適用実態及び運用のあり方等について

中川 隆之委員（道政）から、

機構改革に関し、税務出張所の統廃合についての考え方、廃止個所と行財政上のメリット、関係市町村住民への影響と過疎対策との関連及び今後の対応等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。分科委員長から、工藤啓二委員（公明）から質疑通告の取り下げがあった旨を報告し、企業局、各種委員会及び総務部所管に対する質疑を終結。

③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

④ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第 2 分 科 会

○12月18日（火） 午後 5 時32分、第 2 委員会室
において開議、午後 5 時42分
散会

第 2 分科委員長

宇川 源吉（自民）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に宇川源吉委員（自民）、分科副委員長に舟山広治委員（社会）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。

③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会及び道政各 1 名計 3 名の理事を選び、その協議により行うこと及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議な

く決定。理事には、久田保委員（自民）、小田原要四蔵委員（社会）及び橋浪蔵委員（道政）をそれぞれ選出。

④ 分科委員外委員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。

⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○12月19日（水） 午前10時 9 分、第 2 委員会室
において開議、午後 3 時40分
散会

第 2 分科委員長

宇川 源吉（自民）

① 土木部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

(1) 土木予算に関し、予算減額補正の理由、55年度開発予算の見通しと長期計画に与える影響、補助率特例廃止に伴う影響と対応策、今後の公共事業の進め方

(2) 道の工事に伴う住民対応に関し、土木事業施工に伴う用地処理の方法及び住民の意向の反映の必要性、市町村委託に対する予算措置等のあり方、工事に伴う折衝経緯について関係者と文書による確認の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があった。土木部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午前10時52分休憩、午前10時55分再開。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、工藤啓二第 1 分科委員（公明）からの本分科会への出席及び住宅都市部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

久田 保委員（自民）から、

道道小樽臨港線に関し、小樽市の臨港線代替ルート案と運河を守る会等の道路代替案に対する道の考え方、小樽市が実施した「運河沿い石造倉庫所有者等の意向調査」の調査結果、文化財保存に伴う所有者対応について小樽市への指導方、都市計画変更案が遅延した場合の現在の都市計画の取り扱い方等について

熊谷 克治委員（社会）から、

住宅問題に関し、今回補正予算の住宅関係予算の減額の理由、厚生年金住宅の当初予算の算定と今年度実績の大幅な落ち込みの主要原因の解明方、道営住宅の計画戸数と減額の種別内訳、戸数減少が道発展計画の目標戸数に与える影響、福祉住宅についての考え方、道営・公団住宅の空き家の実態と原因及び今後の住宅建設計画の進め方、道営住宅の家賃、敷金の見直しについての考え方、公団住宅の建設に対する知事の意見具申のあり方、住宅供給公社の保有地の現状と今後の措置方針、公営住宅に単身者を入居対象とすることの検討方と道の単独実施における問題点及び公営住宅法改正についての国への要請方等について

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) 住宅都市行政に関し、道営住宅家賃の不均衡は正後の差額全額未納件数と地域別内訳、督促の実態、支払命令の対象範囲とその基準及び今後の取扱い、修繕、環境整備の実態と一部未納との関連性、今後の修繕計画、催告の実施時期
- (2) 道道小樽臨港線に関し、小樽運河と周辺建造物に対する認識、小樽市の都市計画変更手続に伴う直接請求についての認識、計画変更に対する基本的な見解等について

工藤 啓二委員（公明）から、

道営住宅に関し、公営住宅の建築基準の推移及び最低居住水準以下の戸数、老朽住宅の建替えと既設公営住宅の居住水準の引き上げに対する取り組み方、公営住宅への単身者入居についての法改正の働きかけ、公営住宅の払い下げについての考え、公団住宅の払い下げについての建設省との話し合いの有無、公営住宅改善事業の市町村の実態と道の計画及び予算措置の考え、住宅政策に対する道の対応の十分性等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。分科委員長から、舟山広治委員（社会）から農地開発部所管に対する質疑通告の取り下げがあった旨を報告。理事者交代のため、午後3時6分休憩、午後3時12分再開。

③ 労働部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

相模繊維㈱北海道工場の閉鎖問題に関し、閉鎖に至る経過と現状、解雇従業員の再就職の実態と今後の対策、特定不況業種としての優遇援護措置、従業員の年齢、男女別構成、新会社誘致の見通しと操業目途、解雇者未払い賃金に対する救済措置の見通しと早期支給の働きかけ等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、農地開発部及び労働部所管に対する質疑を終結。

○12月20日（木） 午前10時40分、第2委員会室において開議、午後5時32分散会

第2分科委員長

宇川 源吉（自民）

① 農務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、工藤啓二第1分科委員（公明）からの本分科会への出席及び農務部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することををはかり、異議なく決定。

佐々木 行雄委員（自民）から、

畑作振興と農村電化に関し、農漁村動力電気事業の進捗状況、計画の達成見通し、積み残しがした場合の措置、計画期間後の構想、農村電化に関する協議会、連合会の存否、三者協議会における協議状況、農業基盤整備に係わる支障電柱の移設実績、支障電柱の把握数と判断基準、支障物件についての実態調査の有無、基盤整備以外の支障電柱についての実態調査及び処理計画策定の考え等について

舟山 広治委員（社会）から、

当面する農業行政に関し、農業の本質と農業行政を進めるに当たっての基本的な考え方、今日の農業情勢についての認識、地域農政の本質、農畜産物の輸入外圧に対する道の取り組み姿勢、余剰米等の輸出についての考え方、生産体系の見直しの考え方、道産米の消費拡大に対する取り組み状況、道産米の消費低迷に対する道の行政責任、米飯給食の推進方、米の貯蔵体制のあり方、米の減反割り当てに対する道の対応姿勢、水田の土壌調査

の根拠、土壌分析センターの基本方向及び道行政との関係、機構改革の基本方針及び農業試験研究機関のあり方との関連、農業改良普及制度における国の姿勢に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時43分休憩、午後1時57分再開、ついで、

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) トヨタ自動車工業のテストコースに係わる農用地の取得に関し、設置計画、用地取得に対する道の認識と今後の対応方針、対象地域への農業関係事業費の投資額、農地転用の抑止についての道の対応
- (2) 紋別市農協のバルククーラー導入問題に関し、補助金の執行に係わる地元農民からの行政不服審査請求及び農協監査の不整事項報告に対する道の対応姿勢、導入に当たっての実態把握及び調査の内容とあり方、補助金の執行に当たっての違反の有無、再調査の考え等
- (3) 稲作転換に伴うタマネギ農家への影響に関し、タマネギ農家の経営実態、タマネギ価格安定制度の枠の拡大、補償基準の据え置き及び基準価格の引き上げに対する見解、タマネギの輸入規制について国へ要請する考え、タマネギの輸入予想量、稲作転換に伴うタマネギ転作のあり方と今後の具体的な対策、稲作転換について国へ再考を求める意思の有無
- (4) 養豚農家の経営安定対策に関し、養豚農家の経営状況と具体的な経営安定対策、補給金の限度額引き上げについての見解、積立制度の交付準備金単価の引き上げと特別積立金の道費負担についての考え、準備金制度の延長に対する見解
- (5) 酪農問題に関し、保育所に対する福祉牛乳についての民生部との協議検討方、酪農負債の実態把握と金融対策の取り組み方等について

工藤 啓二委員（公明）から、

減反問題に関し、北海道の稲作に対する農林水産大臣の現状認識と就任前の発言に対する見解及び対応姿勢、今回の減反割当てに対

する道の具体的な取り組み方と配分決定の時期、最終決定までの手順、関係団体との協議状況、減反目標を返上した場合の国の姿勢と道の対応及び流通上の問題点、国に対する対応方針等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があった農務部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後4時7分休憩、午後4時15分再開。

② **林務部所管に対する質疑**に入り、

米村 邦敏委員（社会）から、

木材、林産資源の開発利用に関し、資源の高度利用に対する基本的な考え方、道立林産試験場の開発研究の成果とPRの実態、機構改革の概要と考え方及び試験研究のサイクルとの関連、カラマツ材の高度利用の研究成果とその労力及び予算の規模、試験研究結果の活用状況と評価、道立林産試験場における調査研究予算の規模と林業予算、道予算に占める割合、カラマツ製品の企業化の見通し、合板の開発内容、建築材としての調査研究の考え方、間伐による小径木の活用方策、カラマツ材の高度利用開発の見通しと道発展計画との整合性及び今後の開発の方向、パルプとしての消費見込量と今後の見通し、普及停滞の原因、新製品の実用化の見通しと今後の対策、販売、流通体系の考え方、高度利用開発技術の強化、今後の調査研究の方向と熱エネルギーとしての検討の考え、林産試験場の充実強化、研究及び普及の成果の総括に対する考え等について

（関連して、**舟山広治委員（社会）**から、機構改革に関し、道立林産試験場の改善整備の考え方と移転構想との関係、林業の拡充強化方等について）

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があった、林務部所管に対する質疑を終結。

○12月21日（金） 午前10時41分、第2委員会室
において開議、午後6時15分
散会
第2分科委員長

宇川 源吉（自民）

① **水産部所管に対する質疑**に入り、

長岡 寅雄委員（社会）から、

(1) 水産試験場の機構改革に関し、機構改革

の基本的な考え方、試験・研究体制の充実の必要性、施設の廃止について地元住民の意見の尊重

(2) 噴火湾のホタテ貝毒発生に関し、調査の結果、貝の斃死の状況と被害漁家対策等

(3) 道漁連の不祥事に関し、事件発生の原因、道の指導・監督権限、今後の再建対策の進め方、検査体制の強化等について

吉野 之雄委員（社会）から、

原発建設に係る海象調査に関し、調査の実施主体、調査目的及び内容、調査の委託先と当否、調査実施にあたっての道の対応、温排水による影響と水産資源についての事前調査の必要性等について

質疑及び意見があり、水産部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時49分休憩、午後2時14分再開し、水産部長から休憩前の吉野之雄委員（社会）の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

吉野 之雄委員（社会）から、

原発建設に関し、地域漁民の意見の尊重と道の対応のあり方等について

質疑及び意見があり、水産部長から答弁。

② 分科委員長から、中川隆之委員（道政）から質疑通告の取下げがあった旨を報告し、水産部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後2時24分休憩、午後2時29分再開。

③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

(1) 石油情勢に関し、最近のエネルギー情勢の推移に対する認識、原油の価格騰勢に対する受けとめ方、代替エネルギーの開発に対する考え方と55年度予算上の措置、LNG導入についての取り組み状況、再生可能なエネルギー調査の実施

(2) 石炭問題に関し、道内の石炭埋蔵量の把握状況、今後の石炭の位置づけに対する考え方、火力発電の石炭見直しに対する見解

(3) 原子力発電の安全性に関し、原発の放射能の人体への影響に対する認識、安全対策に伴うコストアップ、原発と他の発電とのコスト比較、原発に係わるパンフレットの編集のあり方と今後の取扱い等について

湯本 芳志委員（社会）から、

北海道電力に対する指導に関し、北電の発

行している広報資料に客観性と正確性の有無、資料の内容についての指導の考え、北電の広報体制についての所見について

藤井 虎雄委員（社会）から、

(1) コールセンターに関し、現在の取り組み状況と今後の推進方策、海外炭と国内炭の位置づけ、事業主体と運営方法についての構想、新規エネルギーの導入についての考え方

(2) 電源開発に関し、内陸部における石炭火発の存続に対する考え、知内の重油専焼火発の建設中止の必要性、本道に電源開発例を誘致する考えについて

勝木 省三委員（道政）から、

中小企業金融対策に関し、信用保証協会の保証取扱実績、無担保無保証の限度額の引上げ、中小企業振興基金の融資条件の緩和、融資期間延長の時期、年末金融の融資枠、企業経営の実態に即応した融資のあっせん及び指導等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

○12月22日（土） 午前10時25分、第2委員会室において開議、午後零時21分閉会

第2分科委員長

宇川 源吉（自民）

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員（社会）から、

高校進学率に関し、全国的にみて本道進学率の低い原因、教育長計における55年度95%の進学率確保の見通しと60年度進学率に対する考え方、地域格差の現状分析と格差是正に対する考え方及び収容率、進学率との関連等について

保格 博夫委員（社会）から、

児童生徒の体力状況及び学校給食の安全性に関し、児童生徒の健康状態の実情と疾病以外の特徴的な問題点についての調査の考え、学校給食用パン製造における臭素酸カリウム使用の実態と使用承認の根拠、廃止の現況及び使用についての基本的な考え方、指導基準に係わる製造実態の調査方、安全性について

の認識と今後の指導方針、学校給食用の新製品の取り扱いについての指導方及び食器等の使用実態の把握方、児童生徒の環境分析による教育行政の推進方等について

本間 喜代人委員（共産）から、

教育長期総合計画に関し、前期計画における養護学校高等部整備計画の進捗状況と今後の見通し及び早期着工の必要性、伊達高等養護学校の開校の目途と仮校舎での開校についての考え方及び入学予定の待機生徒、父母に対する対応、既設養護高等部の受け入れ体制の実態と今後の対応姿勢等について
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

〇12月22日（土） 午後2時17分、第1委員会室において開議、午後4時57分閉会

委員長 鈴木 誠二（社会）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 知事に対する総括質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、

農業問題に関し、農作物の輸入に対する基本的な認識、道産米に対する評価と消費拡大対策、稲作転作目標面積に対する受けとめ方と今後の対処策等について

湯本 芳志委員（社会）から、

環境影響評価条例に関し、条例施行後の適用事業と対象事業、評価項目の拡大に対する考え、条例運用の基本的姿勢について

小野 秀夫委員（道政）から、

道職員の服務に関し、夏季休暇等を内かんで実施することの妥当性、職免条例で処理することの当否、民間企業に年次休暇による夏季休暇を指導していることとの矛盾、自治省の指導とのそご、今後改善する考え等につい

て

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。

- ③ 付託案件に対する意見調整のため、午後4時15分休憩、午後4時50分再開。
- ④ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号、第11号について意見の一致をみるに至らなかった旨及び議案第1号について岩崎守男委員（社会）ほか9人から、議案第1号を撤回し、組替えのうえ再提出されたいとの動議が提出されている旨報告の後、岩崎守男委員（社会）から趣旨説明があり、この動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもって否決と決定。次に議案第1号を問題とし、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、岩崎守男委員（社会）から、議案第1号に関し、少数意見を留保する旨発言。

次に、議案第11号を議題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第2号ないし第10号、第16号、第17号及び第25号ないし第38号を一括議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ⑤ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

資 料

第4回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件	名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
	北海道副知事定数特例条例	12. 22	12. 26	北海道条例第32号
	北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第33号
	北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第34号
	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第35号
	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第36号
	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第37号
	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第38号
	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第39号
	北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第40号
	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第41号

12 月 の メ モ

- 1日 ○農林水産省、韓国政府外務部から、韓国漁船の本道沖操業について12月1日から一部自主規制するとの通告があった旨発表。
- 4日 ○警視庁、国際電信電話会社(KDD)本社、前社長室長宅などを、関税法違反の疑いで一斉搜索、関係書類や密輸品などを押収。
○国連安全保障理事会、イラン政府に対し米大使館人質の即時解放、米、イラン両国政府に平和的に解決するための諸措置を要請するなどを骨子とする決議案を全会一致で採択。
- 5日 ○大平首相、中国を訪問。
○岩内郡漁協、北電が計画している共和・泊原発関連の岩内湾海象調査に同意。
- 8日 ○韓国の崔大統領、緊急措置9号を解除、金大中氏軟禁から解放、政治犯も相つぎ釈放。
- 9日 ○倶知安署と道警2課、喜茂別町の町費不正流用事件で、金田前町助役らを有印公文書偽造と同行使、詐欺の疑いで逮捕。
- 11日 ○第4回定例道議会開会
○第90臨時国会閉幕。
- 12日 ○南米のコロンビア太平洋岸沖でM8・1の地震発生。死者、行方不明300人を越し、負傷者約2千人。
- 13日 ○岩田室蘭市長、勸奨退職にあたらなとして退職金の一部返還を命じた札幌地裁判決に対する控訴を断念。
- 14日 ○「ロソ」「ソロ」漁業暫定協定再延長交渉妥結。日本の漁獲量は75万トンで今年と同量。
- 18日 ○道漁業協同組合連合会、東京営業本部課長の永年にわたるニシンやサケ・マスなどのカラ取引で百億円を超す巨額の欠損金が判明。
- 19日 ○千葉地検、衆院千葉2区の宇野代議士を買収交付罪で在宅起訴。代議士の買収事件による起訴は18年ぶり。
○網走管内湧別町森林組合、売掛代金の焦げつきなどにより4億円を超す欠損金が判明。
- 20日 ○石油輸出国機構(OPEC)総会、原油価格で結論の出ないまま閉幕。この結果、当面石油価格は事実上自由価格に移行。

21日 ○第91通常国会召集。

○小樽市議会、運河の一部を埋め立て道路建設促進の陳情を野党議員退場の中で採択。

22日 ○道森林組合連合会、喜茂別、湧別両町森林組合などへの転貸資金の焦げつきで7億円を超す欠損金が判明。

○第4回定例道議会閉会

27日 ○アフガニスタンでクーデター発生。アミン政権が倒れ、親ソ派のカルマル氏が全権を掌握。

29日 ○閣議、55年度予算政府案を決定。一般会計42兆5,888億円(本年度当初比10.3%増)、財政投融资計画18兆1,799億円(同8.0%増)、道開発予算7,116億円(同0.2%増)。